

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM15Z002		化学 (Chemistry)					基礎教育科目 自然・科学		対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
必修		2	1	医学部看護学 科	前期	月5	日本語			単独					
担当教員	氏名 下田 恵														
	E-mail shimoda@oita-u.ac.jp 内線 5606														
授業の概要	多くの知識を得ることは重要であるが、その知識を使う方法がより重要になる。いかに多く知っているかという事と共に、いかにその問題を処理することができるかという事に留意して、化学に取り組むことを目標とする。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 自然現象を物理化学的に説明できる。									○						○
目標2 有機化合物の構造と性質を説明できる。									○		○				
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									6		3				1
授業の内容															
1 原子間結合と分子間結合															
2 溶解と溶液の濃度															
3 溶液の性質															
4 蒸気圧と凝固点・沸点															
5 コロイド															
6 酸とアルカリ															
7 電離定数と緩衝液															
8 立体配置と立体配座															
9 有機化合物の特性															
10 飽和脂肪族炭化水素															
11 不飽和脂肪族炭化水素															
12 酸素・窒素を含む簡単な有機化合物															
13 カルボン酸とその誘導体															
14 芳香族化合物															
15 生体関連有機化合物															
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認		○	小テスト、ディスカッション、LTD(Learning Through Discussion)				工夫その他の	90分の授業の中間にブレイクを入れる。						
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		参考資料について予習する(10h)。												
	事後学修		小テストについて復習する(10h)。講義ノートを復習する(15h)。												
	想定時間合計		35												
教科書		教科書を指定しない													
参考書		R. T. Morrison「モリソンポイド有機化学」東京化学同人、1994年、ISBN 9784807904013													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	期末試験		100%	○	○								
注意事項	出席回数が2/3以上でなければ、試験を受けられません。 オンライン講義の回はMoodle上で出欠をとるので、指定された時間内にアクセスしてください。 講義と試験は関数電卓が必要です。												
備考													
リンク													
	URL												